

別紙

記入日： 年 月 日

生徒氏名：

補助講師制度について

概要

補助講師制度とは、「スクラッチマスター」となった生徒がメイン講師の補助として、教室に通う他の生徒にプログラミングを教えることのできる制度です。

教える側（スクラッチマスター）になるための条件

当教室をご利用中にジュニア・プログラミング検定 GOLD（1級）に合格した生徒のことです。「スクラッチマスター」は、当教室独自の呼称です。

規則

補助講師は1コマにつき1人までつくことができます。スクラッチの教室の定員は4人までですが、補助講師のいる教室は生徒の定員を1人増やせることとします。

メリットについて

【教える側のメリット】

- ・スクラッチの理解がより深まる
- ・説明する力やコミュニケーション能力が向上する
- ・自己肯定感が向上し、自信がつく

【教えられる側のメリット】

- ・「スクラッチマスターになる」という目標ができる
- ・補助講師の方が教え方がうまかったり、話しやすかったりする可能性がある

利用について

【教える側】

スクラッチマスターになった生徒は、以下の選択肢の中から今後の方針を決めていただきます（途中で変更することも可能です）。

- ①. 今後もスクラッチを習う（A：補助講師はしない、B：補助講師をしたい）
- ②. スクラッチを習うのはやめて Unity を習う（A：補助講師はしない、B：補助講師をしたい）
- ③. スクラッチも Unity も習う（A：補助講師はしない、B：補助講師をしたい）

※Unity を習う方でBの補助講師をしたい、という方には月謝の割引（補助講師1回につき500円。月の上限2,000円まで）があります。

※回答がない場合は、「① A スクラッチを続ける、補助講師はしない」を選択したとみなします。

【教えられる側】

補助講師からプログラミングの説明を受けてもよいですか（はい ・ いいえ）

※回答がない場合は、「はい」を選択したとみなします。

※途中で変更することも可能です。